



# 尾久西だより

荒川区立尾久西小学校  
発行日 令和3年2月1日  
発行者 校長 芝田智昭

No. 357 2月号

## 文字に込められた思い

副校長 水野 美津子

終業式の日、4年生の男子児童からカードをもらいました。カードには「運動会の応援団の朝練習の時いつもがんばってね、と声をかけてくれたのでうれしかったです。そのおかげで当日はがんばることができました。ありがとうございます。」と記されていました。一生懸命書いてくれたことが、何度も書き直した鉛筆の跡と濃い字でしっかり書かれた文字から伝わってきました。担任の頃は、子供や保護者から手紙をもらうことはありましたが、副校長になってからはほとんどありませんでした。久しぶりに手にした手紙に気持ちが温かくなりました。

2学期末、医療従事者の方に子供たちが感謝のメッセージカードを書きました。

- ・うがい、手洗いをしてこれからも感染しないように気を付けます。
- ・年末、年始も休むことなく命を救ってくださりありがとうございます。
- ・コロナに負けないよう、私たちもがんばります。
- ・冬休みは、できるだけでかけずに家でゆっくり家族と過ごします。

新型コロナウイルス感染症の治療にあたっている医療従事者の方々を思い、そして改めて自分でできることを考え直すきっかけになったのではないのでしょうか。本当に大変な毎日ですが、子供たちの手紙を手にした医療従事者の方々の気持ちが少しでも和らいでくださればと思います。

また、一人暮らしの高齢者の方に子供たちが年賀状を送りました。2学期頑張ったことや、自分の夢などを書き、可愛い牛の絵も添えられていました。年明け、「年賀状、ありがとうございます。おかざりの絵がとても上手にかけていておもわず笑顔になりました。」というお礼のお便りを何通かいただきました。

手紙を書いている時は、相手を思い、どんなことを書いたら相手が喜ぶかと考える優しい時間が流れています。丁寧に書いた手書きの文字は、PCやスマホの文字より書いた人の感情が一層強く伝わるような気がします。

校内には、子供たちが書いた書き初めが掲示されています。毎日廊下を通り、大きく伸び伸びした字に元気もらっています。例年は、書き初め展を行っているのですが、今年度は保護者会の時にご覧いただく予定です。こんな時期でも自分たちは頑張っているぞ、と文字に込められた子供たちの気持ちを感じとっていただければ嬉しいです。